

事業所名

放課後等デイサービスばずる

支援プログラム

作成日

7 年 2 月 10 日

法人（事業所）理念		ご利用いただく皆様、そして、そのご家族様の笑顔のために あらゆるニーズに対応する努力を惜みず、 献身的なサービスを通じて、地域の発展に寄与する。					
支援方針		5領域から個々に合わせた個別支援を設定し、学ぶ、体験する機会を作ります。 好きなこと・興味があることから課題設定をし、集団活動を通して「楽しい」「できた」と感じながら学べる工夫をしています。					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	児童の健康の確認を行うとともに、体調不良などの意思の表出が難しい方には表情や行動の変化を確認しながら健康管理を行います。 着脱などの簡単な生活スキル習得の支援方法を考え、環境的配慮を行いながら活動や遊びを通して支援を行います。					
	運動・感覚	理学療法士による指導のもと、運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、様々な体の感覚・感触に触れ、感覚の成長を支援します。 リトミックを通して音やリズムに合わせて体を動かし、音楽の感覚や潜在的な能力を養います。					
	認知・行動	特性に合わせて、どのような方法、環境の設定であれば円滑に活動に参加できるかを模索し、支援します。また、「着席維持」「話を聞く」「少し苦手なことにも挑戦する」等課題に向く姿勢、力がつけられるよう支援します。活動を通して「楽しい」「やってよかった」と感じることができるように関わり方や内容を工夫します。					
	言語 コミュニケーション	言語聴覚士の指導のもと、集団活動やお友達とのやり取りを通して、口や舌の動かし方や自分も周囲の人も大切にできるようなコミュニケーションを学びます。 言葉だけではなく身振り手振りや絵カード等の非言語的コミュニケーションツールを使用し、一人一人に合った方法での相互理解を図ります。					
	人間関係 社会性	ルールのある活動を通して、「順番やルールを守る」「指示に沿った行動をする」等、社会に適応する為に必要なスキルを支援します。 また、お友達との関わりの中で「自分の感情に気付く」「感情に名前を付ける」「対処法を考える」等、気持ちのコントロールする練習を重ねます。 個々の遊びからペアや集団遊びへ、本人の意思を尊重しながらスモールステップで集団での活動を促していきます。					
家族支援		面談の機会を設け、事業所での様子の報告の他家庭での聞き取りを行い情報の連携・心配事への助言を行います。		移行支援		必要に応じて保育園を訪問し、行事等、普段と異なる活動の際のこどもの関わりについて、具体的な関わり方のモデルを示していきます。	
地域支援・地域連携		保育園や幼稚園、就学先、医療機関等との会議に参加し連携を行っています。		職員の質の向上		委員会を設置し、各委員会の報告を含め全体研修を月一度実施しています。外部研修にも積極的に療育職員より参加をしています。	
主な行事等		季節に合わせた行事を取り入れています。また地域の方をお招きし、交流を行っています（交通安全教室等）。					